



ウルリーケ・フェルト

ウィーン大学社会学部長、教授（科学技術）

ウィーン大学学部間研究プラットフォーム「学術研究における責任ある研究・イノベーション」の長を務める。2014年からは社会学部長を兼任。ウィーン大学着任以前は、1983年から1988年まで欧州原子核研究機構（CERN、スイス・ジュネーヴ）に勤務。ウィーン大学で1983年に物理学（数学副専攻）博士号、1997年に科学社会論／科学社会学の教授資格を取得。また、数々の国際的学術組織で客員教授を歴任している。研究文化の変容（特に、研究における価値体系の変化、質の保証と責任の問題、学術研究の時間構造）及びガバナンス、民主主義、公衆による科学技術への関与と受容を中心に研究している。また、生命科学、医学、生物医学、ナノテクノロジー、核エネルギーとその持続可能性も研究分野に含まれる。ザイマン賞（ヨーロッパ科学技術研究連合（EASST））、STS インフラ賞（社会科学学会（4S））、オーストリアイノベーション教授賞（オーストリアの大学の優秀教授賞）などを受賞。2002年から2007年まで *Science, Technology, & Human Values*（SAGE Publications）と、*Handbook of Science and Technology Studies*（MIT Press, 2017）の編集長を務めた。2017年からは欧州科学技術研究協会（EASST）会長。